

誰もが輝ける社会へ

障害を知ることから はじめませんか

問福祉課障害者福祉係 ☎286-3161

障害は、事故や病気、強いストレスなどが原因で、自身や身近な人など誰もがなりうるものです。障害の種類や程度は人それぞれで、日常生活での困りごとや不便と感じていることも違います。障害について正しく理解し、誰もが安心して暮らせるよう、まずは障害を知ることからはじめてみませんか。

主な障害と特性

視覚障害

「全盲」の人や光を感じる程度の視力の人、視野の半分以上が見えない人などがいます。

◆視覚障害がある人は

- ・音声や点字、手で触る、拡大鏡を使用するなど、さまざまな工夫をして情報を得ています。
- ・白杖を携帯したり、盲導犬を連れていたりする場合があります。
- ・読み書きや不慣れな場所での単独行動が困難です。

接し方のポイント

- ・白杖を頭上に掲げているのは、困っているというサインです。「何かお手伝いしましょうか」など、相手の正面から声をかけましょう。
- ・説明する時は「右側に手すりがあります」など具体的に説明しましょう。



聴覚障害

「音が全く聞こえない」「聞こえにくい」場合があり、聞こえにくさは人それぞれです。補聴器を着けている人でも障害のない人と同じように聞こえるわけではありません。

◆聴覚障害がある人は

- ・手話や文字、相手の表情や口元の動きなどから必要な情報を得ています。
- ・補聴器を着けている人に大きな声で話すと、聞き取りにくい場合があります。

接し方のポイント

- ・聞こえやすい方の耳元で「ゆっくり、はっきりと話す」「短く分かりやすい文章で筆談する」など、相手の希望にあわせて対応しましょう。
- ・大きな声で話す場合は、個室を使用するなど、相手のプライバシーにも配慮しましょう。



肢体不自由

手足のまひや欠損、体幹の機能障害など、障害の程度によって、かなり個人差があります。またいくつかの障害を併せ持つことがあります。

◆肢体不自由の人は

- ・長距離の歩行や、階段の昇降、人混みでの移動が困難場合があります。
- ・外見上分からなくても、力が入らず物が持てない、字が書けないような人もいます。
- ・失語症や高次脳機能障害を併せ持つ場合があります。

接し方のポイント

- ・車いすを使用している人に話しかけるときは、腰をかがめ目線を合わせるように気を配りましょう。
- ・言葉が出にくい人もいますが、話を理解することが出来ます。ゆっくり話を聞いて、その人に合わせた方法で話をしましょう。



interview

日頃からの関係づくりが 安心に繋がります

人によって得意・不得意があるように、障害のある人も障害による不自由があるだけで、他の人と変わりません。コロナ禍になり、家で過ごすことが増え、寂しくて困る、将来が不安だといったような声を聴くことが多くなった気がします。障害があってもなくても、日頃から挨拶をして顔見知りになる、そうしたことが互いに安心して暮らせる環境づくりに繋がるのではないかと思います。またヘルプマークなども知ってもらい、着けている人への援助や配慮の輪が広がれば良いと思います。

の援助や配慮の輪が
広がれば良いと思
います。

なないろ作業所
相談支援専門員
大成 美恵子 さん



ヘルプマーク
援助や配慮を必要としていることを知らせるマーク（赤色）

・電車やバスでヘルプマークを身に
着けている人を見かけた際は、席
を譲るなどの配慮をしましょう。

接し方のポイント

・健康そうに見えても、日常生活で
疲れやすく、立っていることなど
が難しい場合があります。

◆内部障害がある人は

主に内臓機能の障害で、外見から
は分かりづらく、周りから理解され
にくいことがあります。

内部障害

・具体的な表現や分かりやすい言葉
を選んで話をしましょう。
・必要に応じて絵記
号などで視覚的に
伝える工夫をしま
しょう。



接し方のポイント

・予定外のことが起こったときに、
パニックになったり、動けなく
なったりすることがあります。
・言葉によるコミュニケーションが
苦手な場合があります。

◆知的・発達障害がある人は

複雑な事柄の理解や判断が苦手
で、知能や発達が同年代の人と比べ
てゆっくりしています。

知的・発達障害

精神障害

精神疾患のために日常生活や社会
生活に支障がある状態です。

◆精神障害がある人は

・少しのストレスでも精神的に疲れ
やすい傾向があります。
・気持ちが過剰に高揚したり、強く
落ち込んだりと、気持ちのコント
ロールが難しい場合があります。

接し方のポイント

・不安を感じさせないよう、穏やか
な対応を心がけましょう。
・相手の話をしっかりと
聞いて、「ゆっくり」「
ていねいに」「繰り返し」
話をしましょう。



相手の意思を尊重した サポートを

「障害があるから困っているかも」と
思っても、本人が慣れた動作や場
所では、助けを必要としない場
合もあります。相手の様
子を見ながら、困ってい
るようであれば声をか
け、必要に応じた手助け
をするなど、相手の意思
を尊重したサポートをお
願いします。



障害のある人とその家族のための相談窓口

障害（難病を含む）のある人やその家族の人、また地
域の人などからの、さまざまな困りごとや悩みなどの相
談を無料で受け付けています。
※プライバシーに配慮し、秘密は厳守します。

■柏学園相談支援事業所

場 所 府中町青崎東 7-12 ☎282-6500 Fax282-4981
対 象 知的障害者、児童
受付時間 (月)～(金) 午前8時45分～午後5時30分

■なないろ作業所相談支援事業所

場 所 府中町浜田 3-9-1 ☎236-3437 Fax285-4824
対 象 身体障害者、知的障害者、精神障害者、児童
受付時間 (月)～(金) 午前8時30分～午後5時15分

■WIND えのみや相談支援事業所

場 所 府中町本町 3-11-9 ☎・Fax286-5551
対 象 精神障害者
受付時間 (月)～(金) 午前10時～午後5時